

重症免疫不全症に対する新生児オプショナルスクリーニングに関する アンケート調査の集計結果

定期予防接種において、麻疹や水痘などの弱毒化したウイルスを用いた予防接種（生ワクチン）によって重度の免疫不全症に罹患している子どもは、接種後、重い副作用が発症することが知られています。このため、欧米では出生後早期のうちに新生児の免疫機能を評価する「ろ紙血」を用いたスクリーニングが実施されています。一方、我が国では一部の団体がこれらスクリーニングを任意で実施しているのみで、その範囲は極めて限られ、特に2020年10月より開始されたロタウイルスワクチンが生後2ヶ月より接種可能であることから、今後、このような重症免疫不全症に対する新生児スクリーニングの全国規模での実施体制整備が求められます。

そこで、今回、県、市、特別区等の地方自治体ホームページより予防接種を担当する部署849カ所を選出し、これら新生児オプショナルスクリーニングに関するアンケート調査を行いました。その結果、398部署より回答が得られましたので（回答率46.8%）、その結果を公表し、今後の重症免疫不全症患者に対する予防接種の在り方を考えていきたいと存じます。

なお、ご回答頂いた関係部署の方々には篤く御礼申し上げます。

令和3年2月1日

国立成育医療研究センター
遺伝子細胞治療推進センター
センター長 小野寺 雅史

アンケート結果

	回答数	%
1. ロタウイルスワクチンあるいは BCG 接種関連感染症発症について		
(1) 把握しており、発症事例の経験がある	21	5.3
(2) 把握しているが、発症事例の経験はない	145	36.4
(3) 把握していない	222	55.8
(4) その他	6	1.5
無回答	4	1.0

コメント

- ・ 法的規定の報告義務のある BCG 接種後の関連感染症の把握及び経験あり

2. 重篤な免疫不全症に対する新生児オプションスクリーニングについて		
(1) よく知っている	6	1.5
(2) あまり知らない	165	41.5
(3) 聞いたことがない	225	56.5
(4) その他	1	0.3
無回答	1	0.3

3. 重篤な免疫不全症に対する新生児オプションスクリーニングの導入について		
(1) 実施している	0	0.0
(2) 現時点で導入を検討してる	1	0.3
(3) 現時点で導入の予定はないが今後検討してイみる	21	5.3
(4) 今後も導入する予定はない	304	76.4
(5) その他	64	16.1
無回答	8	2.0

コメント

- ・ 導入の予定ならびに検討なし
- ・ よく分からない
- ・ 国の動向を注視して判断する
- ・ 情報を収集して検討する
- ・ 県に要望していく
- ・ 保護者負担の有料検査として実施予定

4. その他新生児オプションスクリーニング（先天代謝異常症、脊髄性筋萎縮症等）について

	回答数	%
(1) よく知っている（疾患名）	22	5.5
(2) あまり知らない	208	52.3
(3) 聞いたことがない	162	40.7
(4) その他	4	1.0
無回答	2	0.5

(1) の疾患名

・ 先天性代謝異常症	13 件
・ フェニルケトン尿症	2 件
・ ポンペ病	2 件
・ ムコ多糖症	1 件
・ 先天性甲状腺低下症、先天性副腎過形成、ガラクトース血症	1 件
・ ライソゾーム病、副腎白質ジストロフィ	1 件

5. 新生児オプションスクリーニングについてのご意見、ご質問があればお書きください
（なお、下記の文章はご回答頂いた内容を要約したものです）

- ・ ワクチン関連感染症発症予防ためには導入は必要だが国の公費負担にして欲しい。
- ・ 市町村レベルでの導入は財政的に厳しく、都道府県事業の拡大として実施してほしい。
- ・ あまり馴染みがなく、情報が少ない。実際に実施しているところの情報が欲しい。
- ・ オプションスクリーニングの意味合いがわかりにくく、その内容や一般への周知ならびに行政等への情報共有がなされていない。
- ・ 導入に関しては有効性やエビデンス、検査精度ならびに公費負担（財政支援）等の情報が必要
- ・ 新生児スクリーニングに関する簡易なテキストがあると予防接種担当者だけでなく、母子保健に従事する職員への周知や説明もしやすい。

以上